

# 令和2年度 石狩ブロックの研究

## 研究主題

自らの命を守るために主体的に行動する子どもの育成をめざして

## 主題設定の理由

私たち養護教諭は、昨今様々な場面で子どもたちへの対応について最新の知識と専門性が求められている。具体的な場面としては、食物アレルギーに由来するアナフィラキシーショックの発症時の対応、いじめの問題、心の問題、虐待が疑われる子どもの問題など、関わる内容は多岐多様になってきている。緊急時における対応についても、子どもの基礎疾患や特性・家庭環境など子どもを中心に考えた時に、本当に適正であったのかと振り返ることもある。これらを解決するための一つとして、対応や処置の根拠となるものをしっかりと理解し、知識として身につけていくことで、子ども一人ひとりに応じた救急処置ができるのではないかと考える。

1年次目は、緊急時の事例や救急体制などの事例を交流した。2年次目は、そこで出てきた課題を解決するために、「日常」「校外行事」「危機管理」3つのグループに分かれ、大切にすべき視点を明らかにした上で話し合いを行った。全体研でも保健室での対応、さらには学校での対応について課題を探り解決に向けてとりくんでいくことを確認した。今年度は、残された課題について、各校で実践をし、全体交流を行っていく予定である。直近の課題である新型コロナウイルス関連の交流も交えながら関連づけて研究していく。

それにより画一的な健康ではなく、一人ひとり自分の健康について考えられるよう「子どもたち自身が自分の命を守る」ことを意識づけ、主体的に行動する子どもを育みたいと考え、この主題を設定した。

## 研究の仮説

1. 緊急時の対応や救急処置および校内救急体制について各校での実践を交流し、緊急時の子どもを巡る状況やとりくみを検討していくことで学校での対応に関する課題が明確になる。
2. 教職員や子ども自身が健康課題に気づき、それを解決していく知識を身につけることで、子どもの命を守ることにつながり、さらには、自己選択・自己決定する子どもの育成につながるができる。

## 研究の内容

- ①昨年度、グループ研・理論研・全体研で見えてきた課題を、実践につなげる。

## 研究の方法

- ① 全体で実践交流を行う。
- ② 理論研・実技研を行う。 (未定)